

(24時間対応)。

(古川和宏)

高梁川流域連盟高校生絵画展

村田さん(川崎医科大 附属2年)最高賞 倉敷で全出品作151点展示

倉敷、総社市など備
中地域10市町の官民で



流域連盟会長賞に選ばれた
村田さんの「友を探しに」

つくる高梁川流域連盟が募った「第20回流域高校生絵画展」の入賞作品が決まった。最高賞の流域連盟会長賞には川崎医科大付属高2年村田雅佳さんのアクリル画「友を探しに」が選ばれた。全出品作151点は8日まで、倉敷市中央の市立美術館で展示されている。入場無料。

17校から寄せられ、高校の美術教員らが審査。同賞のほか、特選5点と佳作32点を選んだ。村田さんの作品は、暗闇に浮かび上がるような大小の人物の対比や、大きく描かれた人物の物憂げな表情が目を引く。「技術的な工夫が至るところにあり、練りに練られた作



備中地域の高校生の絵画が並ぶ会場

品」と評された。特選は、倉敷市美観地区の倉敷川沿いの柳と川舟を爽やかな色彩で描いた青陵高1年板

谷実歩さんの「木漏れ日」など。このほか、校舎のスケッチや自画像など身近な題材を描いたり、

マスキングテープを使ってユニークさを出したりと、若い感性があふれる作品が並んでおり、来場者の目を楽しませている。

入賞作品の一部は6月17〜24日に早島町民総合会館ゆるびの舎(同町前潟)、7月14〜24日に総社市総合文化センター市民ギャラリー(同市中央)でも展示される。

他の特選は次の皆さん。(敬称略、数字は学年)

- 大島弘太郎(天城2)
 - 小村能之(総社3)
 - 田村汰一(総社南1)
 - 藤原新(水島工2)
- (吉川瑠美)